

シニア便り

第28号(2014年11月発行)
発行：北海道シニア吹奏楽団事務局
編集：シニア便り編集部

第21回定期演奏会を終えて

団長・中村 暁生

定期演奏会を終えて

実行委員・大澤 美和

楽器やめなくて良かった 中屋 千春
新企画・団員のことをもっと知ろう

石井 邦紀

梶 芳英

第21回定期演奏会を終えて

団長・中村 暁生

1. はじめに

第21回定期演奏会は、実行委員会の綿密な計画と団員皆様の努力と協力のお陰で好評のうちに無事終わりました。

実行委員を担当していただいたトロンボーンパートの皆さん、サポートして下さった方々に先ずお礼を申し上げます。

2. 成果

(1) アンケート結果に見るとおり、私たちシニア吹奏楽団が創立以来持ち続けている「楽しく温かみのある演奏」がお客様に受け入れられ、支持されていることは団の大きな財産であり今後も皆さんと一緒に大切にしていきたいと思います。

(2) 今回の演奏曲の中でグレードの高いリードの「第2組曲」をはじめ第1部の曲を各パートが良く消化して纏りのある演奏となったことは大きな自信になったことと思います。

(3) 第2部では「ブラジル」と「I Dreamed a Dream」が大変良い仕上がりでした。「ドリフのずっこけ大集合」は演奏に加え創立以来始めて取り入れた踊りも好評で、客席が大いに盛り上がったことは今後の企画に参考になりました。

ソロを担当した佐々木さん、練習が終わってから遅くまで踊りの練習をして下さった皆さんに心から拍手を贈ります。

3. 反省と今後の課題

(1) お楽しみクイズでイントロのほんの一部で全曲正解が出たのに驚きました。他のお客様のために正解が出た後、4~8小節演奏すべきだったと反省しています。

(2) ライヴ録音を聴いて感じることは、合奏の基本であるピッチの正確さ、透明感のあるハーモニーの構築、音の立ち上がりと終わり方、音形の整一さなどまだまだ不十分です。これからの練習を通して一つずつ解決して、更にも上を目指してPoco a Poco 進んで行きたいと思います。「継続は力なり」です。



定期演奏会を終えて

実行委員・大澤 美和

第21回定期演奏会は無事終了しました。皆様お疲れ様でした。

実行委員の苦勞話でも... ということで何かを書いてほしいと依頼されましたが、演奏会が終わった今、演奏も楽しく吹けたし、踊れたし、団員

は勿論のことお客様からも楽しかったと好評だったので、終わりよければすべてよし！ ですよ。

今回の演奏会は絶対楽しいものにしたい！ と云うことを実行委員会が始まったころから考えていました。

今までの演奏会は、なんとなくお堅いイメージが強く、動きが無いというか…。とにかくお客様も自然に拍手が起きるような、笑ってもらえるような、そんな演奏会にしたい！ そして、なにより演奏している私達が楽しく演奏できるような曲を選ばなきゃ！ と思って柿岡さんの反対を押し切ってまでもゴリ押ししたのが『ドリフ〜』です。この曲は世代的にも団員はもとよりお客様も知っている人が多いし、なにより歌えるんじゃないかな？ と思いました。中村先生が、「この曲をやるなら踊らなきゃダメなんじゃないか？ ただ座って演奏をしたって楽しくないし。でも踊るなら本格的にきちんとしっかり踊らなきゃ中途半端じゃかえってつまらない曲になるからな。」とってくださいました。柿岡さんは『募集して人数がいなかったら、この曲は却下だ。』と思っていたみたいです。実際募集したら、ちゃんと立候補してくれてダンサーズが結成されました。踊りは菊田さんがほとんど考えてくれました。私的にはオリジナルの踊りぐらいの感覚でいたのに、菊田さんの考えた踊りは本当によく動くし、ここまでしなきゃダメ？ 的な。しかも、当日のリハーサルで実際会場で踊ってみると、こんなに走るの？ あれ？ 曲に間に合わないよ！ 階段転がったらどうしよう？ 足を挫いたら仕事仲間に笑われてしまう！ ってか、うちの先生（職場のDr）診てくれるかな？ なんて、要らない心配までしたぐらいにして…。



でも練習の成果がバッチリ出て、みんな上手くできました！ 石井さんと小杉さんもしっかり歌ってくれたし、鈴木さんと長岐さんのツラは好評だったし！（お二人は、ツラがお気に召したみたいで、練習のときから何も言わなくても自ら被ってくれました！）お客様もノリノリだったし！ いや〜 楽しかったですね。



今回の演奏会は本当にお客様からも団員の皆様からも「楽しかった」と言う声が聞けて本当によかったです。これも皆様の協力があったからこそです。私のアイデアを聞き入れてくれた中村先生をはじめ、実行委員の皆様、特にダンスのことや照明のことに尽力してくださった菊田さん、3部のときに照明係りになってくれた梶さん、本当にありがとうございました。そして、団員の皆様本当にありがとうございました。

ちなみに、これは後日談なのですが、演奏会のビデオを見る機会があり、実家にいた私は、妹と凜（私の愛姫）と一緒に見ました。凜はそれを見て「見て！ これね、ママが踊っているんだよ！ これね、大澤凜も踊れるよ！」と、大興奮し口の中のビスケットを妹に飛ばしながら説明していました。私よりも楽しく踊りの練習に参加してましたからね。今でもお風呂に入ったときは「パバンパバンバン お腹回し」とか言って歌いながら踊ってます。ズンドコ節も「ズズズンドコ」と歌ってます。凜にとっても楽しかった演奏会になりました。

**楽器やめなくて良かった
テナーサクス 中屋 千春**

先日の定期演奏会、お疲れ様でした。
今夏からサクスパートでお世話になっております。皆様、宜しく願い致します。

私が吹奏楽部に所属したのは、高校1年生からです。

学生時代は、苫小牧の端の方に住んでいた為小学生の頃は小さな音楽クラブで木琴・鉄琴を担当してました。中学は、吹奏楽部が無かった為3年間バドミントン部でした。高校で念願の吹奏楽部に入部しサクスに魅了され、アルトを志願したもののジャンケンで負けテナーへ。手が他の方よりかなり小さい為最初のうちは大変でした。

今もですが、16分音符の譜面が得意ではありません。

そこから少し空白がありますが、細々とアルト・テナーを続けてます。独身時代は幽霊団員でしたが『札幌 JAZZ 勉強会』に、息子が生まれてからはママさんプラスバンドにと。

特に結婚してからは晩ご飯の時間もクラシック音楽のTV録画、車の音楽も吹奏楽、外出もKitaraのコンサート、大晦日のカウントダウンもTVのジルベスターコンサート(笑) 完璧、洗脳されたと思っております。

今では息子の鼻歌の『キャンディード』に度肝を抜かれています。

仕事の都合でママさんでの午前中の練習参加が不可能になって楽器を諦めていた時に 旦那からこちらのお話を頂きました！

ママさんプラスの指揮者から「続ける事が大事です」と言われ今度はシニアで頑張ろうと決めました。こちらに入ってから特に吹奏楽仲間の繋がりを深く感じており本当にやめなくて良かったと実感しております



ます。昔のように毎日練習出来ないで、ご迷惑かける時もありますがこれからも皆様と楽しく吹けたらと思っております！

次は団員のことをもっと知ろう！ です。

前は綺麗な女性の紹介でしたので、今回は男前パート、トランペットより石井さん、梶さんの登場です！！



**団員のことをもっと知ろう！ #005
トランペット 石井 邦紀**

石井さんですが、第1回の定期演奏会より参加されています。天秤座のA型、寅年です。

当団では奏者、副指揮者の兼任をされていますが、どちらも好きだそうで相互の経験が相互にプラスになっているそうです。

名前の由来：祖父が付けたようです。

出身地：山形県最上郡生まれ。幼稚園から高校まで砂川市。

音楽以外の趣味：美味しいものを食べること、美味しい酒を飲むこと。下手な写真を撮ること。たまに乗るスキー。

好きなビール：エビス、サッポロクラシック

仕事：自衛隊音楽隊、教員（音楽科教諭、教頭、校長）芦別市適応指導教室専任指導員

好きな本：たくさん持っているのは音楽関係の本。よく読むのはその時々必要な解説本。

好きなミュージシャン：ルートビッチ・ギョットラー、フルトヴェングラー、ルチアーノ・パバロッチェ

やってみたい楽器：チェロ

私の意外な一面：アイロンがけが上手、我が家でコーヒーをいれるのは私の仕事。

自分を楽器でたとえると：楽器用アンプ(大きい音、声ができる)

本番でのアクシデント：たくさん有りすぎるが、若いころ某オーケストラでのこと、モーツァルト・ピアノ協奏曲で、練習から本番まで全て休みを数え間違っ、どこかで落ちた。トランペットが吹くところが少なすぎ！

思い出のウナギ：札幌の北 18 条にあった「なが木」の蒲焼、閉店して食べられなくなったのが残念

これからの夢や目標：出来なくなるまで、音楽と関わる。

団員のことをもっと知ろう！ #006
トランペット 梶 芳英

続きましては梶さん、お腹には夢と希望が詰まっています。

11回より参加、カブキ座のガタ型...
シニアの魅力は？『林先生の宴会での話「仕事の定年はあるが、音楽や楽器を吹く定年は自分で決めるものだ！」がシニアの魅力になっているじゃないかと思う。』との事です。本当にその通りですよ。

名前の由来：出生届を一度役場に追返されて2回目についた名前という事は聞いたことがある。

音楽以外の趣味：スキー、写真、スイカとメロン作り、温泉に入りゴロ寝をしてダメ人間になる事。

仕事：その昔某法律事務所準職員、その後公務（校務？）員

好きな本：新明解国語辞典第4版

好きなミュージシャン：札幌交響楽団、VPO、大阪市音楽団、L.Bernstein、C.Basie、P.I.Tchaikovsky

やってみたい楽器：リュート

私の意外な一面：デブながらも健康診断に引

つかからない（精検必要なし！！）

自分を楽器でたとえると：体型的にはチューバやコントラバスと言われます。

今まで本番であったアクシデント：コンクール道大会の自由曲の山場でワイシャツのボタンがプツンして木管2列目まで飛んでいった事。

団員へひとこと：新たな挑戦・チョットの努力と向上心で楽しみを広げましょう！

好きな音楽のジャンル：バロック、ジャズ

好きな食物 ...カレーライス

これからの夢や目標：いつまで演奏できるか挑戦したい。



=====
編集余録
=====

今年の定演はいつもと一味違いましたね。パート毎の実行委員の良さがでてましたね。来年も楽しい演奏会にしたいですね。（高橋幸恵）

定演お疲れ様でした。今年は照明や踊りがあって、いつもと違うことが新鮮でしたね。今から来年も楽しみです。新鮮味がありつつもバンドの雰囲気はずっと変わらないでいてほしいなと思うこの頃です。（長土居梨那）